

新興国の債券と為替の動向

- ✓ 年初来の新興国の国債パフォーマンスの優劣に影響を与えた要因の一つは、実質政策金利と経常収支/GDP比との相対感が挙げられる。
- ✓ 新興国のインフレ観測と欧州債務問題が燃り続けることから、市場の債券投資判断は、実質政策金利と経常収支/GDP比の相対感が反映されるものと見る。

● 新興国の国債指数の年初来パフォーマンスは図表①の通りになりました。堅調なハンガリーの指数に対して、トルコや南アフリカの指数の伸びは鈍いように見えます。

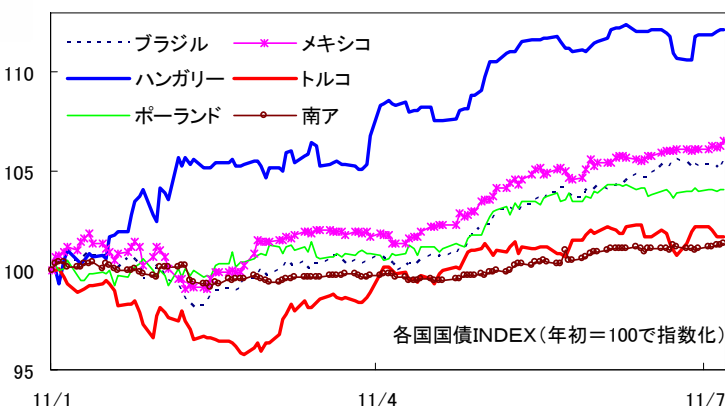
この背景の一つとして、図表②に記載の通り、実質政策金利と経常収支/GDPの座標における相対的な位置関係が挙げられます。つまり、図表②で、より左下方向に位置する国の国債指数は相対的にパフォーマンスが悪く、一方でより右上方向に位置する国の国債指数は相対的にパフォーマンスが良いということです。

● 図表③は年初来の対円通貨パフォーマンスですが、ここでも上位はハンガリー、下位はトルコ、南アフリカという順位の中に図表②での相対的な位置関係が反映されています。

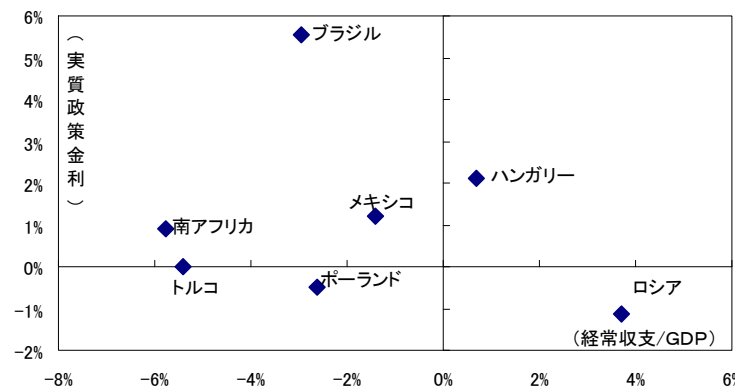
● 新興国ではインフレ懸念が台頭しており、中央銀行が金融政策でインフレをコントロールできているかどうかという市場の評価が、結果的に債券や通貨パフォーマンスに反映されています。

また、欧州債務問題によるソブリンリスクが燃る中、国としての資金のファイナンス状況を見る観点から、経常収支/GDP比も国債や通貨の先行きを見る上で、特に注視されている模様です。こうした傾向はしばらく続くものと考えています。

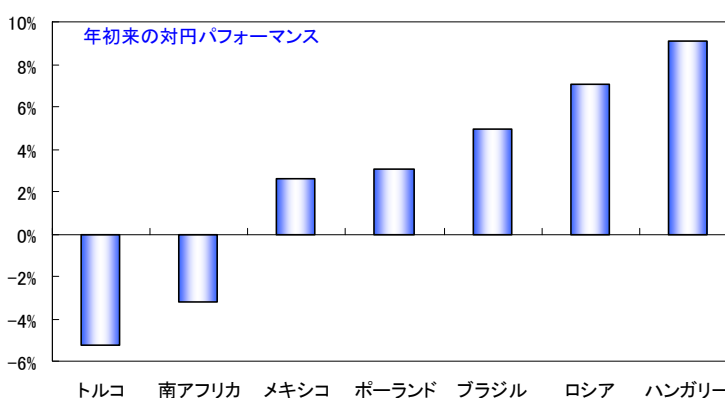
【図表①】 各新興国の国債指数の推移(2011年の年初=100で指数化)



【図表②】 実質政策金利と経常収支の対GDP比分布図



【図表③】 新興国通貨の対円パフォーマンス(年初~7/14時点)



出所: 図表①はメリルリンチボンドマスター、他はブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 <審査確認番号H23-TB45>